

事業計画書

企業名	株式会社●●●●		
設備を設置する事業所	所在地	北九州市●●区●●町●一●	
	名称	株式会社●●●● ■■サービスセンター	
事業実施期間	事業開始予定日	令和●●年●●月●●日	
	事業完了予定日	令和●●年●●月●●日	
電力契約の種類	該当するものを全て□で囲むこと		
	特別高圧・ <input type="checkbox"/> 高圧 <input checked="" type="checkbox"/> ・低圧(電灯)・低圧(動力) 現在の電力会社名 ( ●●電力株式会社 )		
再エネ100%電力	変更後の電力会社名 ( ●●電力株式会社 )		
	メニュー名 ( 再エネ ECO プラン )		
設置設備等の概要	① EMS 機器	設備の種類	該当するものを□で囲むこと BEMS・HEMS・FEMS <input type="checkbox"/> デマンドコントローラー 【 <input checked="" type="checkbox"/> 新設 <input type="checkbox"/> 既設 ( 年 月)】
		設置場所	事務所
		仕様・内容等	設定デマンド値を超えそうになると警報 1時間毎の消費電力値等表示及び記録
	② 電力関連設備	設備の種類	該当するものを□で囲むこと <input checked="" type="checkbox"/> 自家消費型太陽光発電・小型風力発電 <input checked="" type="checkbox"/> 蓄電池 【 <input checked="" type="checkbox"/> 新設 <input type="checkbox"/> 増設 <input type="checkbox"/> 既設更新 ( 年 月設置)】
		設置場所	太陽光パネルは工場の屋根 パワーコンディショナーと蓄電池は工場東壁面
		仕様・内容等	太陽光発電：▲▲社製 型式 YYY-VVV ●. ● kW 蓄電池：▲▲社製 型式 PPP-XXX ●●. ● kWh  北九州エコプレミアム製品である (はい・ <input checked="" type="checkbox"/> いいえ)

WordのA囲み線が使えます。

注) EMSは、エネルギーマネジメントシステムの略です。

設置設備等の概要	◎エネルギー関連設備①	設備の種類	高天井用LED照明 【既存設備設置年月 ●●年 ●月】
		設置場所	工場
		仕様・内容等	●●製 角型（水銀灯700形相当・広角）×10台 角型（水銀灯700形相当・中角）×10台 トップランナー基準達成（又はグリーン購入法適合） 合計20台  北九州エコプレミアム製品である（はい・いいえ）
	◎エネルギー関連設備②	設備の種類	高効率空調機 【既存設備設置年月 ●●年 ●月】
		設置場所	事務所
		仕様・内容等	●●製 天井埋込形 ×●台 床置き形 ×●台 トップランナー基準達成（又はグリーン購入法適合） 合計●●台  北九州エコプレミアム製品である（はい・いいえ）
	◎エネルギー関連設備③	設備の種類	小型木質バイオマスボイラー 【既存設備設置年月 ●●年 ●月】
		設置場所	工場
		仕様・内容等	■■社製 型式 SSS-WWW 1台 定格出力 116kW 常用時の効率 85% 伝熱面積 9.07㎡ 燃料 木質チップ  北九州エコプレミアム製品である（はい・いいえ）

見積書を基に税抜の金額を記入ください。

補助対象経費(税抜)	区分	金額	備考
	直接工事費	11,170,000円	諸経費は、調査費・現場管理費・一般管理費・共通仮設費の合計
	諸経費	2,330,000円	
合計	13,500,000円		
資金計画(税抜)	区分	金額	調達先
	補助金(千円未満切捨)	4,500,000円	北九州市
	自己資金	9,000,000円	—
	借入金	0円	—
	合計	13,500,000円	—

※㊸電力関連設備、㊹エネルギー関連設備の記入枠は、必要に応じて追加してください。

借入を予定している場合は、その金額と調達先を記入ください。

設備設置効果等

◎エネルギー関連設備の設置にかかる、更新前の設備と今回更新する設備を比較した、年間削減量及び削減率を記載してください。電気以外（ガス・灯油・水道等）の設備を更新する場合は、電気削減量に換算して記載してください。別紙でも可（様式自由）

<計算式>

① 更新前の設備にかかる年間電力使用量

水銀灯 700W×20台×8時間/日×年間200日=22,400kWh  
 空調 メーカー試算により20,000kWh（別紙●）  
 合計 42,400kWh

②今回更新する設備にかかる年間電力使用量

高天井用LED 140.5W×20台×8時間/日×年間200日=4,496kWh  
 空調 メーカー試算により15,000kWh（別紙●）  
 合計 19,496kWh

③年間削減量

①-②=42,400kWh-19,496kWh=22,904kWh

④削減率

③÷①×100=22,904kWh÷42,400kWh×100=54.0%

省エネ効果(1)  
 (◎エネルギー  
 関連設備の設  
 置にかかる省  
 エネ効果)

【省エネルギー効果：電気の場合】

①	更新前の設備にかかる電力使用量 (年間実績)	42,400	kWh
②	更新後の設備にかかる電力使用量 (年間見込み)	19,496	kWh
③	年間削減量 (①-②)	22,904	kWh
④	削減率 (③÷①×100)	54.0	%

<p>省エネ効果(2) (上記省エネ効果(1)に加え、 ⑧電力関連設備の削減効果を含めた、全体の省エネ効果)</p>	<p>前年度の事業所全体の年間電力使用量を⑤に記載してください。次に⑧電力関連設備を設置する場合は、その電気使用量削減効果(年間)を算出します。そして、前頁省エネ効果(1)と合算した削減量を⑥に記載してください。最後に事業所全体の使用量に対する削減率を計算し⑦に記載してください。別紙でも可(様式自由)</p> <p>&lt;計算式&gt;</p> <p>⑤事業所全体の令和2年度年間電力使用量 電力会社請求書より 118,000 kWh</p> <p>⑥年間削減量      ⑧省エネ効果(1)より 22,904 kWh      ⑨太陽光発電及び蓄電池システムの効果      メーカー試算より 12,000 kWh (別紙▲)</p> <p>合計削減量 = 22,904 + 12,000 = 34,904 kWh</p> <p>⑦削減率  <math>⑥ \div ⑤ \times 100 = 34,904 \text{ kWh} \div 118,000 \text{ kWh} \times 100 = 29.6\%</math></p> <p><b>【事業所全体の省エネルギー効果：電気の場合】</b>      ※各電力会社「電気料金等請求書兼領収証」(令和2年年4月～令和3年3月分の写し)を添付してください。</p> <table border="1" data-bbox="451 1424 1382 1608"> <tr> <td>⑤ 令和2年度の年間電力使用量(実績)</td> <td>118,000 kWh</td> </tr> <tr> <td>⑥ ⑧⑨の全てを導入することによる年間削減量(見込み)</td> <td>34,904 kWh</td> </tr> <tr> <td>⑦ 削減率(⑥÷⑤×100)</td> <td>29.6 %</td> </tr> </table>	⑤ 令和2年度の年間電力使用量(実績)	118,000 kWh	⑥ ⑧⑨の全てを導入することによる年間削減量(見込み)	34,904 kWh	⑦ 削減率(⑥÷⑤×100)	29.6 %
⑤ 令和2年度の年間電力使用量(実績)	118,000 kWh						
⑥ ⑧⑨の全てを導入することによる年間削減量(見込み)	34,904 kWh						
⑦ 削減率(⑥÷⑤×100)	29.6 %						
<p>これまでの省エネの取組</p>	<p>省エネに関するこれまでの取組(電力関連設備・エネルギー関連設備等導入実績、省エネ活動など)を具体的に記載してください。審査の参考とします。別紙でも可(様式自由)</p> <p><b>【記入例】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●●年度に会議室の照明をLEDに更新、■■年度に空調機口台を更新</li> <li>○○年度に太陽光発電○kWを導入</li> <li>昼休みの消灯、空調設備のON/OFFは冷房が28℃・暖房が18℃に設定するなど、省エネに取り組んだ。</li> </ul>						
<p>省エネ診断 受診確認</p>	<table border="1"> <tr> <td style="text-align: center;">有</td> <td style="text-align: center;">・ 無</td> <td>(要綱第4条関連) 他の補助金受領確認</td> <td style="text-align: center;">無</td> </tr> </table>	有	・ 無	(要綱第4条関連) 他の補助金受領確認	無		
有	・ 無	(要綱第4条関連) 他の補助金受領確認	無				